様式第3号(第4条関係)

会　議　録

1　附属機関等の会議の名称

令和８年度丹波篠山市健康づくり推進協議会

2　開催日時

令和８年１０月３０日(金)　１４時００分から１５時３０分まで

＊傍聴受付時間(１３時４５分から１４時００分まで)

3　開催場所

丹波篠山市立丹南健康福祉センター　研修室

4　会議に出席した者の氏名

(1)　委員（敬称略、順不同）

会長　田中と紀代　　副会長　畑　富貴枝

小林忠一　西井真　荒木繁　酒井美明　酒井節代　京極香織

(2)　執行機関

堂東美穂　森康行　吉田久仁子　森鼻清美　臼井幾子　西山美恵　雪岡幸代　越川咲絵

5　傍聴人の数

0人

6　議題及び会議の公開・非公開の別

全て公開

7　非公開の理由

該当なし

8　会議資料の名称

健康課保健事業令和7年度事業実施報告

丹波篠山市高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業一覧

小地域フレイルチェック一覧

丹波篠山市における自殺の現状

丹波篠山市の自殺対策の取り組みについて

9　審議の概要

(1)　開会

(2)　あいさつ

(3)　自己紹介

(4)　議事

・令和7年度事業実施報告及び令和8年度事業について

(事務局より説明)

(5)　情報提供

・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について
・小地域フレイルチェックについて
・丹波篠山市における自殺の現状及び自殺対策の取り組みについて
（事務局より説明）

委員：
小地域フレイルチェックについて、1回巡回すればまた回ってくれるのか。また、何年間に1回巡回するのか。

事務局：
19地区全て終われば、また回れたらと思っている。19地区あるので、5年に1回ぐらいのペースである。

委員：
自殺者のところで、丹波篠山市は同居人ありの割合が多くなっているが、これは実状なのか。

事務局：
ひとり暮らしの方よりも家族と一緒に生活されている方の方が多くなっている。家族に相談しにくい等1人で悩みを抱えている方も多くあり、自殺があった際には、家族の精神的な負担も大きいことから、家族への支援というものも大きくなっている。

委員：
自治会関係では、独居人を中心にフォローしている状況があるが、今の説明からすると、独居人以外の家族のいる家庭も注意が必要ということか。

事務局：
そのとおりである。
高齢者の方で同居されていても、少し家族との関係性に課題がある家庭は注意が必要かもしれない。

委員：
自治会はどちらかというと、独居人を中心に情報を集める傾向にあるが、家族がいると心配ないと思いがちであったが、今の説明からだとそうではないということか。

事務局：
そのとおりである。

委員：
孤独死という事が気になるが、丹波篠山市には見守りの制度もあるが実際どうなのか。

事務局：

丹波篠山市でも孤独死というのは全くないということはない。

例えば、アパートに住まれている方や、自治会と距離を置いておられる方があったりする。

ただ、民生委員や地域の見守りはすごく充実しており、「マメに見守り隊」というところでは、新聞配達やヤクルトの配達、コープの配達の方など、早めに気付き市などに連絡を入れていただき対応したことで、孤独死まで至らずに防げているケースもある。

(6)　その他

(7)　閉会